

小倉駅南口東地区市街地再開発事業について

1. 事業の目的

本事業は、本市の玄関口であるJR小倉駅小倉城口の駅前広場東側に隣接する約0.63haの区域において、組合施行の第一種市街地再開発事業により、都市計画道路博労町線等の公共施設と施設建築物を一体的に整備し、土地の高度利用と都市機能の更新を図るものである。

また、再開発ビル敷地内における公開空地の整備やペDESTリアンデッキの接続により、小倉駅周辺の回遊性を高めるとともに、賑わいの創出を図り、北九州市の玄関口にふさわしい良好な都市環境を創造することを目的とする。

2. 計画概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 施行地区面積 | 約0.63ha |
| (2) 建築物の概要 | 建築敷地面積：約4,000㎡、延床面積：約40,000㎡
階数：地下1階 地上24階建、高さ：約9.5m
用途：分譲住宅（約120戸）、事務所・店舗、
公益施設（行政サービスコーナー・市民センター等）、
駐車場（約370台） |
| (3) 公共施設整備 | 都市計画道路博労町線、区画道路（京町17号線）、
駅前広場（ペDESTリアンデッキの接続を含む） |
| (4) 総事業費 | 約138億円 |

3. 再開発組合の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1) 名 称 | 小倉駅南口東地区市街地再開発組合 |
| (2) 代 表 者 | 新井 性鎬（あらい せいこう） |
| (3) 組 合 員 | あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、
積水ハウス株式会社（参加組合員）、日本郵便株式会社、
三菱UFJ信託銀行株式会社、
株式会社リアルエステートサービス ほか(五十音順)
総数 9名 |

4. これまでの経緯

- 平成 12 年 10 月 小倉駅南口東地区市街地再開発準備組合結成
- 平成 19 年 10 月 再開発事業の都市計画決定
(主な用途：業務施設、商業施設、公益施設、駐車場)
- 平成 20 年 1 月 特定業務代行者決定 (株式会社竹中工務店)
- 平成 21 年 5 月 保留床購入予定者が事業参加を撤回
- 平成 24 年 11 月 準備組合理事会が、業務機能を縮小し、住宅機能を導入する
事業計画を作成して、事業推進を図ることを確認
- 平成 25 年 12 月 再開発事業の都市計画変更
(主な用途：住宅、業務施設、商業施設、公益施設、駐車場)
- 平成 26 年 3 月 小倉駅南口東地区市街地再開発組合設立認可
- 平成 26 年 10 月 事業計画認可
- 平成 27 年 11 月 権利変換計画認可
- 平成 28 年 2 月 地権者仮移転
- 平成 28 年 3 月 解体工事着手

5. 今後の事業スケジュール (予定)

- 平成 28 年 8 月 施設建築物 (再開発ビル) 着工
- 平成 31 年 5 月 施設建築物 (再開発ビル) 竣工

